

MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



2015年7月★第113号

クレマチス、白ゴーヤ、トケイソウ、シカクマメ、スズメウリ… 自分流に緑のカーテンを楽しもう！

生ごみ堆肥化&ベランダ園芸講座「緑のカーテンを上手につくる」
日時：5月23日（土）10：00～12：00
会場：ガーデンガーデン
講師：田中紳伍さん（ガーデンガーデン店長、グリーンアドバイザー）



緑のカーテン向けの植物はたくさん！

今回で4年目になる緑のカーテン講座では、講師から適している植物や植え方、育て方のコツなどを教わりました。

葉を広げることが目的の緑のカーテンですが、その広がり方は根の張る量と同じくらいだそうです。つまり、根が広がるよう土がたくさん入るプランターで水はけ良くすること、水やりは葉がちょっとしなっとしたくらいにあげるのがコツ。肥料はこまめに必要です。4～6枚本葉が出たら摘芯することもお忘れなく。

以前は、プランターに苗何本、種類や組合せはこれ…など言われていましたが、今はルールはなく自分が好きなものを育ててください、とのこと。花を愛でたい方はきれいな花を咲かせる植物、収穫して味わいたい方は野菜、楽しく育てることが大切なのだそう。数ヶ月一緒に暮らす緑のカーテン、いつか目や舌で堪能できることを目指して、楽しんで育てたいですね。その時の堆肥はぜひ生ごみ堆肥で♪



田中さんの解説に聞き入る参加者

MELONとは 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク ― 通称「MELON」。
1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体が作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
 - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の環境の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
 - ボランティアや部会に参加することにボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
 - 年5回の情報紙をお届けします。
 - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

- P1 自分流にみどりのカーテンを楽しもう！
- P2 大学生と一緒に活動しています～情報センター～
ユアスタ仙台でエコ体験ブースを開催！
- P3 茶話会「食べ物は今どうなってるの？」
普段の生活環境を見つめなおし・かえる見学会
- P4 MELONcafe プチ講座
かんきょう見聞記
- P5 協同組合からのお知らせ
目指せ100人！環境リレートーク 阿部明日香さん
- P6 ストップ温暖化センターみやぎ通信
インターン生紹介
- P7 仙臺農塾 大人の食育プロジェクト
新緑の川崎の森を満喫しました♪
- P8 トピックス／イベント一覧／編集後記

大学生と一緒に活動しています

情報センターは現在、環境サークルに所属している大学生と活動することに重点を置いています。一緒に企画や活動することによって、互いのネットワークを活用し、環境活動が広がることを目指しています。

「川内エコウォーク～謎の森&川原 BBQ～」

日 時：4月29日（水・祝）10：45～15：30
場 所：東北大学青葉山植物園、大橋下の川原
主 催：環境サークルRNECS、共催：MELON
参加者：12名



朝掘りのだけのこや新玉ねぎの
ホイル焼きも甘くておいしかったです♪

「アウトドアにおけるエコ」をテーマに、環境サークルRNECSと一から企画をして、新入生歓迎イベントを行いました。植物園ではスマートフォンで写真コンテストを実施。その後、大橋の下の川

原でBBQをしました。学生にとっては、広報や参加受付、LINEを使用した写真コンテストをすることで自信につながったようでした。

みなさんもおみを出さない工夫をして、エコなBBQを楽しみましょう。簡単なポイントをご紹介します。

- ★旬の食材（地産地消を心がける）、ジュースやお酒は紙パック（たたんで持ち帰りリサイクル）をチョイス
- ★マイはし、マイお皿、マイカップ持参
- ★全て食べきってごみを出さない（食材の適量を見積もる・作り過ぎない）

取材勉強会第3回

日 時：6月20日（土）10：00～12：00
会 場：MELON事務局
講 師：後藤敏道さん、遠藤真吾さん
（ハリウ コミュニケーションズ株式会社）
参加者：8名

会員団体とのつながりを大切にしたいという思いから始まった訪問取材活動。社会学習のチャンスとなるよう学生ボランティアメンバーと協働で行っています。

昨年初夏に勉強会を2回行い、9月のMELONフェスタでブース出展中の会員団体を取材し、今年3月には株式会社建築工房零の訪問取材にチャレンジしました。この一年を締め括り、新たな活動に向けて講師を招き体験学習をしました。実際にインタビューや記事作成をすることによって自分の文章力に気づいたり「もっとたくさんインタビューすれば良かった！」など、発見が多かったようです。今後はタイムリーな話題で環境・エコに関すること等取材対象を広げ、より活発に活動していきたいと思います！

「会員団体訪問記」はWEBサイトに掲載中。

詳細：<http://www.melon.or.jp/melon/zyouhousenta.html>



20分間で記事作成にチャレンジ。
真剣です！

ユアスタ仙台でエコ体験ブースを開催！

日 時：6月7日（日）12：00～16：00
会 場：ユアテックスタジアム仙台
参加者：ブース累計737名

今年も仙台市環境局と共同で出展しました。MELONのエコ検定は、来場した小中学生が10級から1級まで各級20問ずつチャレンジし、合格すると特製グッズがもらえるというもの。仙台市環境局ごみ減量推進課は「雑がみ釣堀」を行い、広く3Rについて情報提供しました。

エコ検定では、ベガルタ仙台のホームゲーム会場で行われている環境活動に関連した問題を多く出題します。

例えば、「ベガルタ仙台オリジナルタンブラー」を使用すると売店でビールが50円引きになるという取り組みも出題されました。

みなさんもベガルタ仙台を応援するときには、ホームゲーム会場で行われている環境活動にも目を向けて応援してみませんか？



たくさんの子どもたちが
熱心に学習しました！

茶話会

「食べ物はどうなってるの?～放射線測定室から見えること言えること～」

日 時：5月12日（火）10：00～12：00
会 場：フォレスト仙台ビル4階会議室
ゲスト：北村保さん（放射線測定室でとてと）
参加者：35名

震災の原発事故から4年経った今、改めて食品に対する放射線の影響を学びました。まず、震災直後に作られた「それでも種をまく」という映画を見ました。福島県等の有機農家が放射能汚染の風評被害に振り回されながらも、土の力と作物の賢さを再認識しながら農業魂で頑張る姿に力強さを感じました。

話題提供者の北村保さんは約20年前に丸森に移住、「不耕起自然農」の畑で野菜を生産しています。震災後大河原町に放射線測定室



参加者の質問に、丁寧に答えてくださった北村さん

「てとてと」を立ち上げ、放射線測定を続けてきました。現在、米、野菜の線量は検出下限値以下で、果樹の数値も下がっています。しかし、コシアブラ、タラの芽等の山菜はまだまだかなり高い数値が出ているものがあります。窪地や腐葉土、杉山近くの山菜は気を付けましょう。

高齢者の中には「私にはもう関係ないわ」と言う方もいますが、ガン素因を持っている人もいるので、被曝線量に敏感になってほしいとのことです。行政がもっと正確なデータを出してほしいという参加者の声も出ました。自分の生命は自分で守るという意識を持つことが大事なので、実態がどうなっているのか知ること努めていきましょう。



炭入りのお菓子を食べながら、非常に活発な意見交換がされていました！

バスツアー

「普段の生活環境を見つめなおし・かえる 見学会」

日 時：4月4日（土）9：15～17：45
見学場所：ワタママ食堂
株式会社高橋徳治商店
木のぬくもりのある一般住宅
参加者：12名



県産材を多く使用した石巻市のワタママ食堂

東日本大震災で被災した沿岸地域がどのように復興していったのかを見学するために開催しました。1件目のワタママ食堂では一般社団法人ブッシュ・クローバ・コミュニティの新沼代表理事より、

この建物は木造建築に積極的に取り組んでいる瀬野和広さんが設計したことや、栗駒の木材を使用して建設された経緯を話してもらいました。建物の中にはペレットストーブがあり、今年の冬は暖かく過ごせたようです。一般社団法人ワタママスマイルの菅野代表理事は、地域にお弁当を配達しながら高齢者の見守り活動をしているそうです。2件目は株式会社高橋徳治商店の東松島工場を訪問。震災で海岸近くにあった工場が被災したため、小風力発電・太陽光発電システム等を導入した新工場を建

設したそうです。高橋代表取締役からは、多くの人の力で再建したこと、寄付金で設置した太陽光発電システムの電力は売電せずに自家消費していることなどを伺いま



高橋徳治商店に設置している小風力発電

した。最後に国産材が多く使用されている、利府の個人住宅を見学しました。ペレットストーブや太陽熱を利用した空気集熱システム等について、施主の太田さんと株式会社建築工房零の吉田さんからお話を伺いました。空気集熱システムは夜の冷たい空気を利用するので、夏の夜から午前中まで涼しく過ごせるとのことです。参加者からは「実際に住んでいる方のお話が聞けてイメージができた」などの感想がありました。今後もライフスタイルを変えるような活動を行っていきたいと思います。



利府町の個人宅のペレットストーブ等、環境に配慮した仕様について勉強しました。



MELONcafe

日時：4月11日（土）13：30～15：30
「空きビンをリメイク♪ガラスエッチング作り」
日時：5月9日（土）13：30～14：30
「古着をリメイク♪羊の香り袋作り」

「ガラスエッチング」は、ガラスの器にすりガラスのような模様をつけるアートです（薬剤を使用してガラスに模様を付けます）。なんの変哲もないガラス瓶が自分だけの作品になります。星やハートなどの型を取ったシールの上から薬剤を塗るので初心者でも簡単にできます。



講座が終わってから
ごみの分別の仕方で間違いやすい
ポイントを確認しました。

5月は、寄付していただいた着物の生地で今年の干

支「羊」の香り袋を作りました。バッグにいれて持ち歩ける10センチくらいのプチサイズです。お好みのドライハーブを布でくるんで入れたり、エッセンシャルオイルをしみこませた布を入れると香りで癒されます。



かわいい作品ができあがりました！

仙台市では、平成25年一年間で生活ごみの「缶・びん・ペットボトル」が3,000tも回収されました。また、「布類」の排出量は9,000tと、缶類よりなんと3倍も多いのです。回収箱に入れる前にひと仕事、ガラスエッチングをしたり、小物にリメイクしたりとごみの削減になるように工夫してみましょう。

今後の MELONcafe プチ講座

9月26日（土）13：30～14：30
「オシャレで簡単♪着物のカードケース作り」



ママたちは生きる

映画篇①

「小さき声のカノン
——選択する人々」
石垣政裕（MELON 理事）

「かんきょう読み聞かせ」が100回になったのを機会に、「これまでの絵本・児童書から少し範囲を広げ、音楽、特に日本の流行歌や映画、落語などの大衆文化の中でどんなふうに『かんきょう』が顔を出していたのか、いるのかを連載したい」と宣言してしまいました。これまで絵本と同じくらい、たくさんの落語を聞き、映画を見、流行歌に親しんできたのですが、もちろん、対象としている分野はフィクション（作品）も多く、必ずしも直接の「かんきょう」を語るテーマにつながるものは少ないと思います。しかし、場面や歌詞を注意深く見るとポコッと「かんきょう」が顔を出す場合があります。もし、そこをうまく捉えることができれば、生活の中に「かんきょう」という話題をまた「どうぞ」と紹介することができるのではないかと考えてしまったわけです。

さて、この「かんきょう見聞記」の第1回目では、子育てをしながら映画を楽しんでいこうというママさんたちのグループによって先日上演された映画、鎌仲ひとみ監督「小さき声のカノン——選択する人々」（2015年5月21日、於 チネ・ラビータ）を紹介します。終わりの見えない福島原発事故から、どうしても子どもたちを守っていけるのかという重い課題に取り組む、福島県二本松市の母親たちの「声」をドキュメンタリーで描いています。「子を思う母の声」は、福島の4年をチェルノブイリ事故からの30年という年月と地域とを重ね合わせられています。上映当日歩くこともおぼつかないような幼い子どもたちも一緒にいる映画館の中で、上映会を主催しているママから話を聞くこともできました。この映画は彼女にとっては身近な人の物語なんですと。



日本中の小さな声が聞こえ始めたのは、福島のことだけではありません。いま、子どもたちを戦争に追いやる「たくらみ」に反対する声のカノンも聞こえはじめている気がします。

各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

～みやぎ生活協同組合～

夏休みに親子で行ってみよう、やってみよう！

A. 森と水辺の観察会 in 南三陸

南三陸にある“こ～ぶの森”や近くの沢、海辺で観察や生きもの探しを行います。

日 時：7月25日（土）

集 合：①仙台駅東口貸切バス発着所 8：30
（帰着予定17：00）

②道の駅津山もくもくランド 9：45

持参物：飲料、帽子、タオル、着替え、軍手

参加費：大人2,500円、中学生以下1,500円、

未就学児無料

*南三陸産食材を使った昼食付き

申込方法：住所、氏名、電話番号、お子さんの名前、年齢、
集合場所をハガキ、FAX、メールのいずれかで
お知らせください。

申込締切：7月16日（木）

B. 2015年度「水辺の観察と水質測定」

身近な水辺を五感（見る・聞く・さわる・飲む・かく）を使って調べる活動です。夏休みの自由研究にもピッタリです。お申し込んだ方には測定地点数分のバックテスト、調査用紙をお送りします。

調査期間：7月1日（水）～8月31日（月）

申込方法：住所、氏名、電話番号、参加人数、調査地点数（5地点まで）をハガキ、FAX、メールでお知らせください。



申し込み・問合せ先 みやぎ生協生活文化部くらしの活動事務局

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2

TEL：022-218-3880 FAX：022-218-3663 eメール：sn.mkankyok@todock.jp



目指せ100人！

環境リレートーク



第56人目の執筆者
阿部 明日香さん
（多賀城市市民活動
サポートセンター）

多賀城市市民活動サポートセンターのある多賀城市は仙台市に隣接しており、ベッドタウンとしての特性を持ち合わせています。そのため暮らしの中で困り事があった際、仙台市に足を運ぶと解決できることも多く、自分たちで課題を解決する力が育ちにくい土地柄でもあります。そのため当センターでは、市民活動と地域活動の両方の視点から自治力を高めることを目指しています。NPOのみならず、町内会や生涯学習団体の方などが利用されています。

2013年度には、様々な分野から地域や社会に目を向け、活動するきっかけを生むことを目的に実施した事業の中で、MELONスタッフを講師に招き、タンブラーづくり講座を開催しました。手作りのタンブラーでお茶を

飲みながら、タンブラーを持つことによるメリット、環境に対する効果を伺いました。またMELONの取り組みについて伺い、関心がある方は活動に参加できることをお話しいただきました。



このような取り組みをきっかけに、住民の方自らが多賀城を盛り上げるイベントを始めたり、子ども達の居場所づくりを始めたりと、活動が生まれています。これからも、地域づくりに関わる人を発掘し、応援を続けていきたいと思っています。

… 次号執筆者紹介 …

清水冬音さん

（森のようちえん虹の森）



ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.69

推進員だより No.17

新たな推進員が仲間入り

～平成27年度宮城県地球温暖化防止活動推進員委嘱状交付式&研修会開催～

日 程：4月24日（木）
会 場：宮城県自治会館
参加者：19名
内 容：1. 第2・4・6・8期生の委嘱状交付式
2. 研修会



ひとりひとりに委嘱状が
手渡されました。

今年度委嘱対象となったのは、第2期3名、第4期4名、第6期8名の15名。さらに、今年度は5年ぶりに新しい推進員が誕生！12名が第8期として宮城県知事から委

嘱されました。交付式では、宮城県環境生活部の佐野部長より激励の言葉をいただき、身の引き締まる思いです。

続いて開催した研修会では、「推進員としてやってみたいこと」をテーマにワークショップなどを行いました。一人ひとり紙に書き出した後、似たもの同士でグルーピング。「まずは自らの省エネを実践したい」「イベントを通して地域

と繋がりたい」「資源の有効活用を啓発したい」の3グループが出来上がりました。グループごとに、互いの活動の情報交換や、今後こんな活動をしたい！といった計画を立てたり、話が尽きません。

新たな仲間が増え、推進員活動のさらなるパワーアップが期待されます！



グループワークで
互いの想いを語り合いました。



目標を掲げた紙をもって「はいチーズ！」

インターン生を紹介します！

公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団のCSOラーニング制度により、来年1月まで職場体験をするインターン生が3名仲間入り。さまざまな活動の場や事務局内で皆さんとお会いすることもあると思います。どうぞよろしくお願いします！



■小林 洋（こばやし ひろし）

色々な種類のイベントに参加し、自分には何が合っているか発見していきたいです。また、社会人として必要なスキルを身につけ、社会に出たとき、すぐ活かすことができるよう頑張りたいです。

趣味：自転車、空手



■木村 和寛（きむら かずひろ）

MELONが行っている環境活動をサポートし、自分も環境について考え、自分の考えを持ってしっかり活動に励みたいと思います。私達の身の回りで起こっているさまざまな環境問題をどのように解決するかというアプローチを学びたいです。

趣味：散歩、おやつ、ジュース、野菜



■佐藤 瑞季（さとう みずき）

さまざまなイベントに参加し、環境について理解を深めたいと思います。このインターンを通して自分が学んだこと、経験したことをみなさんに情報発信し、環境問題について自分ができることに取り組み、MELONの一員として頑張ります。

趣味：体を動かすこと

仙臺農塾

大人の食育プロジェクト

第7回「もんでんさんに聞く、栗原市での有機稲作暮らし」
 日 時：3月25日（水）19：00～21：00
 会 場：地酒地料理 太左エ門（青葉区国分町2-15-2 1階）
 ゲスト：門傳仁さん（もんでん農場）

門傳さんは、かつて子どもに何のために生きているのか聞かれた時、「地球の平和を守るために生きてるんだ」と答え、その時自分の使命が分かったといいます。有機稲作を始めたきっかけは農薬をかけた後とても具合が悪くなったこと。徐々に農薬を使う量を減らしたり農薬を厳選したりしたところ、生きものが増え田んぼの姿が変わっていったそうです。

有機JASは世界標準の規格で法律に基づいた認定制度です。訴求できることが原則で、毎年認定機関が記録や圃場をチェックします。指定の農薬や肥料以外は使用できず、有機JASマークがないものに“有機”や“オーガニック”などの表示はできません。

「今は稼ぐために一生懸命になるのではなく、自然環境を考えるようになった。その方が面白い。」と明るく話す門傳さん。今とこれからの環境と農業を広い視野で考える宮城の貴重な農家です。



門傳さんのお米で醸造したお酒
「ほでなす」等も紹介

第8回大人の遠足・丸森編「悠久のふるさと筆甫^{ひっぽ}
 春の山里暮らしの今～震災・へそ大根・味噌・たたら～」
 日 時：4月19日（日）8：30～17：30
 ゲスト：吉澤武志さん（筆甫まちづくりセンター事務局長）
 太田茂樹さん（山の農場&みそ工房SOYA）

宮城県の最南端、溪流沿いの細い山道を抜けた先にある丸森町筆甫では、水仙や桜が咲き乱れ、地元の人たちの明るい姿がありました。

戦後約3300名いた人口が現在676名ほどまで減少、高齢化率は44%と課題を抱えています。原発事故による影響もその大きなひとつ。山菜や川魚、井戸水や薪などは、自然と共に暮らす筆甫の人達にとっては貴重な恵みでした。原発事故後、地元の人達が話し合い、寄付を募って放射線測定器を購入。大切なのは現状を知って一人ひとりが考えること。「住むことが誇りだと思えるような地域にすることが地域の存続につながる」と語る吉澤さんは、地域の人達の思いと共にIターンの推進や情報発信などに力を注いでいます。原発事故後、悩み工夫しながらも筆甫に残り、昔ながらの手作りの味噌作りを続ける太田さんからも静かながら熱い思いを感じました。



桜満開の筆甫を堪能

年配の方も若者も出会った方々がみな生き生きとしていて、筆甫の魅力は何よりも「人」なのだ実感し、すっかり筆甫ファンになりました。

新緑の川崎の森を満喫しました！

「春の森で遊ぼう in 川崎町貸し森林」
 日 時：5月24日（日）9：00～15：30
 会 場：川崎町貸し森林
 参加者：11名

毎年開催しているこの企画、まずは森に触れてもらい楽しむことから里山の大切さに気付いてもらうのが目的です。今回も、川崎町の貸森林を借りて活動している「エコ・森林」グループのみなさんのご協力のもと、春の森で遊びつくしました。

子どもたちは普段遊び慣れないターザンロープなどの遊具に苦戦しながらも時間を忘れてチャレンジを繰り返

し、竹笛作りでは最初は見えていたお母さんがいつの間にかナイフをにぎり作業に没頭。お昼は全員でワンタンスープを作り、アウトドアクッキングも体験しました。

参加者が少なかったのが残念でしたが、次は10月頃に「秋の森で遊ぼう！」を開催予定です。みなさんもぜひご参加ください！



薪割りに挑戦

「第20回MELON会員と市民のつどい MELONフェスタ」を開催します!

日 時：2015年9月12日（土）13：30～（予定）
会 場：みやぎ生協文化会館With
（仙台市泉区八乙女4-2-2）
参加費：無料（予定）

一昨年より維持会員総会に代わるイベントとして開催しているMELONフェスタ。MELON会員と役員及び会員同士が交流することを主目的として、会員企業や部会・プロジェクトの紹介ブースの設置、演奏、クイズ、表彰式など、みなさんと楽しめる内容を実行委員会が鋭意企画中です！会場でみなさんとお会いできるのを事務局一同楽しみにしています。ぜひともお越しください！

宮城県の住宅用太陽光発電システム補助金の受付開始

申請受付期間：2015年5月18日（月）～
2016年2月29日（月）（必着）
※予算額に達した場合は期限前でも受付を終了
補 助 金 額：1件あたり 6万円（定額）
県内産パネルの場合上乗せ20,000円/件
補助予定件数：約4,600件
補助対象者：電力受給開始日が2015年1月1日から
2015年12月31日までの方
その他詳細：宮城県再生可能エネルギー室WEBサイト
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/saisei/taiyoukougaiyou-h27.html>

MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくはMELON事務局までお問合せください。

※会員以外の方も参加できます。

7/9（木）	情報センター例会
7/10（金）	4R 推進部会例会
7/15（水）	自然エネルギー等普及プロジェクト例会
7/19（日）	「学都『仙台・宮城』サイエンス・デイ 2015」にブース出展 「エコチャレンジフェスタ in ユアスタ仙台」にブース出展
7/20（月・祝）	「夏休み宿題企画！親子でソーラーカーを作ろう！」開催
7/25（土）	「夏休み宿題企画！in 気仙沼親子でソーラーカーを作ろう！」開催 「水道フェア 2015」にブース出展
8/4（火）	食部会例会
9/5（土）	「仙台長町紙芝居フェスティバル」に出演
9/6（日）	「エコフェスタ 2015」にブース出展 「はやぶさまつり」にブース出展
9/12（土）	「MELON フェスタ～第 20 回 MELON 会員と市民のつどい～」開催

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

新部会「エコ住宅部会」が第5期から活動します

「MELON版復興住宅検討委員会」の活動は一定の役割を果たしたため、第5期（2015年7月）から「エコ住宅部会」として新たに活動することになりました。県産材を使用した環境に優しい住宅が1件でも増えるように活動します！

編集後記

- 8年落ちの愛車をエコカーに乗り換えるか迷っていましたが、月に1～2回しか乗らないので環境的にも経済的にもほとんどメリットがないことに気がきました。とりあえず乗りつづつもりです。（小林）
- 今年もベランダ園芸を始めました。昨年も植えたゴーヤ、実家から譲ってもらい初めてチャレンジするジャガイモ、成長が毎日楽しみです！（菅田）
- 20年以上使用していたエアコンをようやく買い換えて初めての夏を迎えます。昨年よりどれくらい電気使用量が削減されるのか期待しています！（吉田）

〈会員状況〉

778 名

法人 77
任意団体 14
個人 687

2015 年 6 月 19 日現在



ボランティアポイントカード制度をご活用ください

会員の方には、「MELON ボランティアポイントカード」を発行しています。部会・プロジェクトの例会出席、作業やイベントでのお手伝いをすると、1ポイント差し上げます。5つ貯まると1,000円分のMELON協力商品券と交換できます。

MELON 協力商品券とは

みやぎ生協、日専連仙台で発行している商品券です。金額の一部がMELONに寄付され、環境保全活動にいかされます。宮城県内の日専連加盟店及びみやぎ生協の各店舗でご利用になれます。

発行元 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON） Miyagi Environmental Life Out-reach Network

〒981-0933 仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5713

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL <http://www.melon.or.jp/melon/>



この印刷物は、輸送・マイレージ低減によるCO₂削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。

※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。